

## 日本保健物理学会「教員等協議会・若手研・学友会」代表者会議（第5回）

日時：令和2年9月9日（水）9時～10時

参加者：教員等協議会：飯本（理事）

若手研：迫田（理事）、廣田（参与）、廣内、嶋田

学友会：仲宗根、小池

概要：

- 勉強会開催について
  - 8/29 に嶋田会員の知り合いの弁護士の方と廣田会員が発表する形で勉強会開催
    - ◇ 嶋田会員が留学中にイリノイ大学で知り合った方々で行っていた勉強会に便乗する形で、内容は黒い雨について
    - ◇ 参加者は10名程度(試験的な開催として若手研メンバーの顔の見える範囲で)
  - FBで報告記事を紹介予定
  - 今後はもう少し範囲を広げて続けていきたい
- 広報について（ツイッターなど）
  - 学生生活
  - 勉強会などのイベントの広報
  - 暮らしの放射線 Q&A → 今後の運営方針を迫田理事に確認中
- 会則の改定
  - 現在改定案を最終確認中。来週早々には決定予定。

## 2. 理事会・教員等協議会より

- 保物学会で放射性廃棄物問題を扱うべきとの意見あり。また、シニアと若手によるコラボ企画（勉強会など）の開催提案もある
- 学会としての Zoom の契約を完了した
  - 使用希望がある場合には、主査を通して総務担当理事に照会すればよい
- 年度後半の企画行事(保物学会企画委員会が行う恒例行事)の中で若手として発表することは考えられるか(教員等協議会/若手研/学友会の3組織合同として)
  - 活動報告や活動する中で気がついた課題点、今後の方針についての発表なら可能
  - 関連学会の人たちを招き、異分野交流的な場を作るのはどうか 若手研に持ち帰って相談する（実施の可否を9月末までに。内容のイメージを10月中旬までに）
  - 学友会としては、発信の機会があるなら前向きに考えたい

- 執行理事会で相談し、今後若手研 HP の更新は若手研の中でとり扱えることになった。詳細については、学会 HP 担当の藤淵理事と相談すること。
- 執行理事会より、「学会全体の HP の一部を若手研ないし学友会のメンバーにアルバイトとして日々の運営を任せられないか？」との打診あり
  - 若手研、学友会に持ち帰って、まずは担当希望者を募集することから
- 合同学会などに関するアンケートの結果について
  - 学会開催時期について
    - ◇ 総会と合わせて開催できることのみが利点のよう。関連学会の集会と近く、参加組織の総会等の時期とかぶることもある。現時点では、6月の学会開催にはメリットがあまり見いだせてはいない。
    - ◇ 12月開催の方が学会にとっては良いのではとの意見が多い。B4 や M1, D1 の入学したての学生にとっては学会発表をしやすい。
  - 海外組織との連携強化、参加人数や協賛企業の強化などのメリットが多い。
  - どちらかの学会に会員が移行し、会員数が結果的に減少する懸念
  - 少数ではあるが、歴史的に産業界との関係が強い傾向の保物学会と、大学中心での管理学会が、共同で活動できるのかとの懸念も
  - このアンケート結果について、若手や学生の率直な意見を聞きたい
    - 結果をどう解釈するか？
    - 両学会の連携活動や、将来的な合流の可能性については？
    - アンケートに書かれていない利点、不利益点は想定されるか？

次回は 10 月 16 日(金) 9:00~

以上